

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	風しん感染予防対策			事業番号	011-232
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 26 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	・妊娠を希望する女性及びその同居者、妊婦の同居者 ・昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性 101,796人 (R3年7月2日現在)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	・妊娠を希望する者等に対して風しん予防接種費用の助成を行うことで、妊娠初期の女性の風しんの罹患を予防し、出生児の先天性風しん症候群の発生を防止することを目的とする。また、単に全例の費用補助を行うのではなく、接種前に風しん抗体検査を経ることにより、予防接種の必要性の低い方への予防接種による健康被害のリスクを回避するとともに、費用助成にかかる経費の軽減を目的とする。 ・抗体保有率を上げ、集団免疫を獲得することを目的として、抗体保有率の低い世代である昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査及び風しん第5期予防接種（抗体が基準値に満たない者のみ）を実施する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	【妊娠を希望する女性等が対象の事業】 妊娠を希望する女性、その同居者、あるいは妊婦の同居者を対象に、風しんの抗体価が低い者を抽出するための抗体検査を受検者の自己負担なしで保健センターにて実施する。 また、抗体検査の結果、抗体価の低い者に対し、医療機関で実施する予防接種費用の一部を助成する。 【特定の世代の男性に対する追加的対策】 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性は、幼少期に風しんの予防接種を定期接種として公費負担で受ける機会がなく、抗体保有率の低い世代である。 その方々を対象に、平成31年2月から令和4年3月31日までの期間、協力医療機関等での抗体検査を全額公費負担で実施する。また、抗体検査の結果、抗体価の低い者に対しては、予防接種費用も全額公費負担とする。 対象者が働き盛りの世代であることをふまえ、国が公益社団法人日本医師会や国民健康保険団体連合会との調整を行い、全国の市町村、地方医師会がそれぞれ上位組織へ委任をした上で全国知事会と日本医師会が契約を締結することで、対象者の住所に関わらず抗体検査と予防接種の費用を公費で負担できることとした。 これにより、対象者は居住自治体から発行されるクーポン券を利用することで、対象の医療機関であれば全国どこでも受診できるほか、職場の健康診断の機会に同時に抗体検査を受けることも可能となった。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市医師会ほか、妊娠を希望する女性等
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度 令和7年度
11 風しん患者発生件数	人	目標値	0	0	0	0
		実績値	1	0		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		風しんの患者発生を防ぐことが事業目的であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		風しんの患者発生をゼロにすることを目標とする。				
12 風しん予防接種費用助成件数【個人予防（接触予防）】	人		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1,341	1,585	1,600	
		実績値	1,590	1,492		
	達成率	119%	94%			
当該指標を選定した理由		被接種者数の増加がすなわち抗体保有者の増加であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		令和2年度の実績値を参考に設定。				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	風しん感染予防対策	事業番号	011-232
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	16,730	79,804	203,906	84,525	110,437
13	財源内訳					
	国支出金	532	22,051	71,851	20,843	38,188
	府支出金	5,955	6,186	6,077	5,873	6,105
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	10,243	51,567	125,978	57,809	66,144
14	人件費 (b)	4,920	9,080	9,270	9,270	9,270
15	年間経費(c)=(a)+(b)	21,650	88,884	213,176	93,795	119,707

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	風しん予防接種委託料	R2	決算	63,230	40,609	受診票等印刷製本費	R2	決算	54	27
		R3	予算	88,287	48,749		R3	予算	159	159
	風しん予防接種助成金	R2	決算	401	201	医師報酬	R2	決算	0	0
		R3	予算	660	331		R3	予算	56	56
	風しん抗体検査等手数料	R2	決算	1,511	772		R2	決算		
		R3	予算	1,840	931		R3	予算		
	市民向け配付物郵送料	R2	決算	6,272	3,143		R2	決算		
		R3	予算	7,060	3,543		R3	予算		
	MRワクチン購入費	R2	決算	13,057	13,057		R2	決算		
		R3	予算	12,375	12,375		R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度	
		①	風しん予防接種費用助成	件
②	上記①にかかる年間経費	千円	12,234	11,939
③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	7,694	8,002
備考 (算出についての説明等)		②は風しん予防接種費用助成にかかる委託料と助成金の合計		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>予防接種費用の助成については、単価の積算のほとんどが診療報酬に基づく上にワクチンの市場価格に左右される。令和2年度に関しては、ワクチンの価格が上がったため助成1件あたりの経費が高くなっており、前年度と比較して費用対効果は低下している。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>風しんの予防接種では、1回の接種で95%以上の人が抗体を獲得すると言われている。検査を実施し抗体価の低い市民に積極的勧奨を行ってワクチン接種につなげていくことで、確実に抗体保有率を上昇させることができるため、風しんの感染予防に寄与している。</p>
----	---